



ケーブルテレビや IPTV に対応可能な Android™搭載 STB の試作について
～Embedded Technology 2010 に出展～

株式会社 KDDI 研究所（埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長：秋葉重幸／以下、KDDI 研究所）は、Android™^{*1} を搭載した端末としては初めて、日本ケーブルラボ運用仕様、ならびに、IPTV フォーラム技術仕様に準拠した STB（Set-Top Box）を試作しました。

2008 年秋以来、Google™^{*1} の携帯電話プラットフォーム「Android™」を採用した携帯電話は世界各国で発売されており、その市場は広がりつつあります。その一方で、Linux カーネル上に Dalvik VM を搭載し、高いアプリケーション互換性を実現するアーキテクチャを持つ Android™は、組込機器の OS としても注目されつつあり、タブレット端末をはじめデジタル家電、ナビゲーション端末、電子書籍端末などに活用する試みも急速に進んでいます。

この Android プラットフォームを STB に採用することで、STB と携帯端末との間でのアプリケーションやサービスの連携が容易になると共に、世界的に普及しつつある Android の膨大な開発資源やノウハウを活用することでコスト並びに開発期間の削減が可能となることが期待されます。また、ケーブルテレビと IPTV の両方において共通プラットフォームとして採用することにより、ポータルや番組表などの基本 STB 機能を始め、情報家電やクラウドとの連携など幅広いサービスを横断的に展開することが可能となります。

当社では、これらの背景を元に、次世代 STB に最適なアーキテクチャや通信・放送連携アプリケーションを検証するべく、Android™をベースとした IPTV・ケーブルテレビ共通プラットフォームを構築し、共通プラットフォームとケーブルテレビ受信チューナーを搭載した STB を試作しました。基本機能として、（１）IPTV フォーラム技術仕様準拠の IP マルチキャスト・VOD 受信機能（2009 年 11 月に発表）、（２）日本ケーブルラボ運用仕様に準拠したケーブルテレビ放送の受信機能を備え、Android 上のソフトウェアとして（３）通信・放送連携アプリケーションの構築・提供が可能となっています。

今回試作した Android™搭載 STB は、2010 年 12 月 1 日～12 月 3 日にパシフィコ横浜（横浜市西区）で開催される組込み総合技術展 Embedded Technology 2010 の OESF（Open Embedded Software Foundation）^{*2} ブースにて出展いたします。本開発成果は、OESF の STB-WG や日本ケーブルラボでの技術検討に反映させて、STB フレームワークの整備・標準化に寄与する予

定です。なお、今回の試作においては、パイオニア株式会社の協力を得て開発を進めています。

以上

*1 「Google」および「Android」はGoogle, Inc. の登録商標です。

*2 「OESF」は Android をベースとした組込みシステムの開発・普及促進を目的とする社団法人です。

(<http://www.oesf.jp/>)

本件に関するお問合せ先

株式会社KDD I 研究所 営業企画グループ

TEL:049-278-7545 E-mail: inquiry@kddilabs.jp

【補足資料】

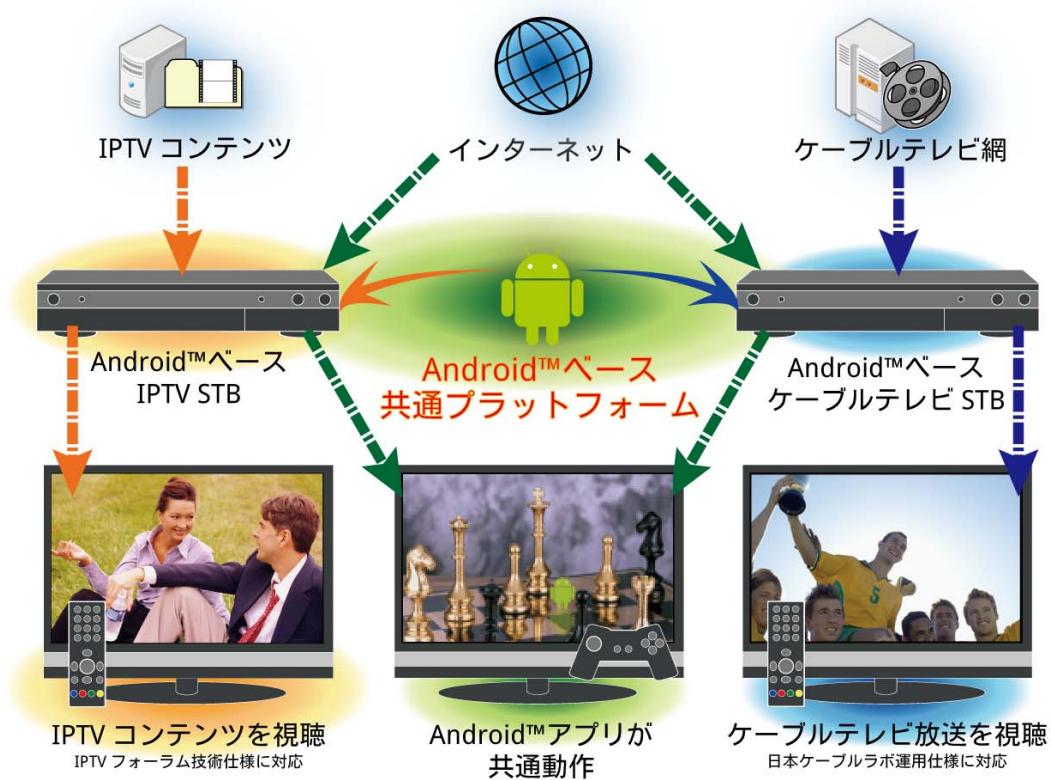


図 1) 本試作 STB の利用イメージ



図 2) ケーブルテレビ・IPTV に対応可能な Android™搭載 STB 試作機の外観